

2015年9月13日

■オーガナイズドセッション：16:00～17:00
(氷河情報センター、極地雪水分科会、衛星観測
分科会 合同開催)

「UAVを利用した雪氷観測」

- (1) デジタルカメラを用いた山岳域の地形解析
奈良間千之 (新潟大学)
- (2) UAV 観測の最新動向とその課題－雪氷観測
への適用を念頭に－
泉岳樹 (首都大学東京)
- (3) 樹冠上からの積雪被覆の多点観測
杉浦幸之助 (富山大学)

趣旨：従来は難しかった低空からの地表面撮影や地形計測が格段に容易に行えるため、近年、小型 UAV (Unmanned Areal Vehicle: 無人航空機) は地球科学、災害科学など様々な分野で大きな注目を集めている。今年度のオーガナイズドセッションでは、小型 UAV を利用した観測技術の雪氷研究での活用事例や UAV 研究の最新動向について第一線の専門家に紹介して頂き、問題点および今後の展開について議論したい。

■極地雪水分科会総会：17:00～18:00

- 1. 南極観測実施報告・観測計画紹介
第 56 次夏隊観測報告
平沢尚彦 (極地研)
第 57 次夏隊観測計画 (中層掘削)
本山秀明 (極地研)
- 2. 北極域観測実施報告・計画紹介
科研費 SIGMA プロジェクト
青木輝夫 (気象研)
科研費プロジェクト (東グリーンランド掘削)
飯塚芳徳 (北大)
GRENE 北極環境研究プロジェクト
榎本浩之 (極地研)
杉浦幸之助 (富山大)
杉山慎 (北大)
ArCS 北極域研究推進プロジェクト
榎本浩之 (極地研)
EGRIP 深層掘削プロジェクト
東久美子 (極地研)
- 3. ワーキンググループ報告等
南極観測将来計画検討 WG 報告
本山秀明 (極地研)
川村賢二 (極地研)
平沢尚彦 (極地研)

観測データマネジメント検討 WG 報告

藤田秀二 (極地研)
矢吹裕伯 (JAMSTEC)
北極雪氷検討 WG 報告
杉浦幸之助 (富山大)

4. 事業報告

国際対応幹事報告
津瀧俊 (北大)
ホームページ対応幹事報告
目下稜 (北見工大)
会計報告
川村賢二 (極地研)

5. その他

(以上)